

2.2 修了までの流れ

2.2.1 標準コース

◇修業年限 標準修業年限は2年

◇複数教員指導制の導入

境界領域を統合する高度なメディア表現研究においては、従来の専門領域を超え、複数の専門領域にわたる指導体制が望まれます。そのため、主指導教員のほか、関連する他領域を含め必要な副指導教員を配置します。

◇研究指導の方法と修士号授与までのスケジュール

1年次6月のプロジェクト履修を受けて、特別研究を中心に研究指導教員が修士論文・作品の作成指導を行います。

1年次末には、各自の研究テーマに沿ってこの1年間に活動した研究内容及び習作等や今後の修士研究へのプラン等の発表を行います。2月の年次制作報告書(5,000字程度)提出が進級要件となります。

2年次になると修士論文・作品の作成に着手し、個別の研究指導も併せて行います。このときに修士論文だけによる審査を行うか、修士論文と修士作品による審査を行うかを決定し、それぞれに従ったスケジュールで研究を進行します。

この間、1年次前期から2年次後期にかけてプロジェクト科目の履修を並行して行い、多領域のノウハウや経験を修得するとともに、プロジェクト全体の成果や進行状況に触れることによって、研究の企画、運営、研究交流などの手法も学び、それぞれの修士論文・作品の進め方に役立ちます。

5月の構想発表と9月の中間発表を経て、11月の修士作品審査を目指します。

1月に修士論文を提出します。

2月に最終試験が行われます。

◇修了要件

修了は、次の要件をすべて満たすものとします。

- 1) 本学に2年以上在学すること。ただし、特に優れた業績をあげた者については、特例により1年以上在学すれば足りるものとする。
- 2) 履修方法に従い、30単位以上を修得すること。
- 3) 必要な研究指導を受けたうえで提出された修士論文、あるいは修士論文と修士作品について、審査及び最終試験に合格すること。

◇学位授与

本研究科の課程を修了した者に与えられる学位は、「修士(メディア表現)」です。

2.2.2 社会人短期在学コース(短期コース)

◇修業年限 短期コースは1年で修了可

◇複数教員指導制の導入

境界領域を統合する高度なメディア表現研究においては、従来の専門領域を超え、複数の専門領域にわたる指導体制が望まれます。そのため、主指導教員のほか、関連する他領域を含め必要な副指導教員を配置します。

◇研究指導の方法と修士号授与までのスケジュール

出願時の面談を受けて、特別研究を中心に研究指導教員が修士論文・作品の作成指導を行います。

入学当初より修士論文・作品の作成に着手し、個別の研究指導も併せて行います。単位修得と併行するため、修士論文だけによる審査を推奨しますが、修士作品による審査も受けるかを決定し、それぞれに従ったスケジュールで研究を進行します。

前期・後期ともにプロジェクト科目の履修を並行して行い、多領域のノウハウや経験を修得するとともに、プロジェクト全体の成果や進行状況に触れることによって、研究の企画、運営、研究交流などの手法も学びます。

5月の構想発表と9月の中間発表を経て、11月の修士作品審査を目指します。

1月に修士論文を提出します。

2月に最終試験が行われます。

◇修了要件

修了は、次の要件をすべて満たすものとします。

- 1) 本学に2年以上在学すること。ただし、特に優れた業績をあげた者については、特例により1年以上在学すれば足りるものとする。
- 2) 履修方法に従い、30単位以上を修得すること。
- 3) 必要な研究指導を受けたうえで提出された修士論文、あるいは修士論文と修士作品について、審査及び最終試験に合格すること。

◇学位授与

本研究科の課程を修了した者に与えられる学位は、「修士(メディア表現)」です。